

日本共産党杉並区議会議員

くすやま美紀(樟山みき)活動報告

2022. 2. 17 NO. 333

連絡先 荻窪5-15-19-704 電話080-5531-8236
区議会控室 3312-2111(内)2319 FAX 3312-2610



第一回定例会 一般質問

気候危機打開への取り組み 強化を迫る



2月14日、区議会本会議で、気候危機打開への取組とジェンダー平等について質問しました。今週は、気候危機への対応について報告します。

基礎自治体として「2050年ゼロカーボンを目指す」と答弁

私は、2年前の第一回定例会でも気候危機問題を取り上げました。その後も、世界各地で、異常な豪雨、台風、猛暑、森林火災、干ばつ、海面上昇など、気候危機とよぶべき深刻な事態が大問題になっていきます。日本でも、大雨特別警報や「緊急安全確保」の指示が頻繁に出され、洪水・土石流で、多数の死者や行方不明者が出るなどの大きな被害がもたらされています。

気候危機は、日本に住む私たちにとっても、緊急に解決しなければならぬ死活的な大問題です。しかし、区長の来年度予算編成方針の説明では、気候危機打開の言及はありませんでした。

私は、まず、気候危機に対する区の基本認識と姿勢を質しました。

区は「世界的な喫緊の課題であるという認識のもと、基礎自治体としても2050年ゼロカーボンを目指していく」と答弁しました。

2030年カーボンハーフ、二酸化炭素排出量等の目標明記を

2050年カーボンゼロを実現するためには、2030年までにカーボンハーフを実現できるかどうかカギです。今後策定する地球温暖化対策実行計画に、2030年カーボンハーフを目標とすること、さらに、温室効果ガスだけでなく、二酸化炭素の排出量も併記することを求めました。

区は「新たな環境基本計画には、二酸化炭素の削減目標も示していく予定」と答弁。また、分野別目標については、国が示した通知をもとに、区としての設定方法や内容について検討を進めている」と答えました。

2年前の提案実る 「カーボンオフセット事業」実施へ

カーボンオフセット事業について、区は前回の私の質問に「二酸化炭素削減の有効策の一つとして認識しており、研究していく」と答弁していました。今回、新たな実行計画案に、カーボンオフセット事業が示されたことは重要な成果です。

区は、事業の内容について「交流自治体である青梅市が所有する森林約12haを、区が数年かけて整備を行い、整備面積分の森林が吸収する二酸化炭素量を、区の二酸化炭素排出量と相殺するもの」で、「現在、令和6年度の実施に向けて、青梅市と具体的協議を進めている」と答えました。
(質問全文は、区議団ホームページに掲載)

お困りごと、ご相談は、上記連絡先まで、お気軽にお電話ください

CO2（二酸化炭素）削減へ

今回の質問と答弁をいくつか紹介します。

質問	区の答弁
太陽光発電機の普及率は2018年度5.7%にとどまっている。普及促進の強化にどう取り組むのか。	太陽光発電や蓄電池等の再エネ等の導入と、断熱改修等省エネ対策に助成メニューを二分し、新年度予算で規模を拡充する予定。
低炭素化推進機器の助成対象の見直しをどのように検討したのか。	高日射反射率塗装については、助成対象を屋根のみから外装塗装にまで拡大する予定。
新規住宅に対し、省エネ住宅の建設を誘導、推進する取り組みを提案する。	新たに予定している、すぎなみエコチャレンジ事業（※）で国のZEH支援事業を受けた場合を対象に加えるなど、省エネ住設を推進していく。
大型小売店に対し、節電と再エネ電力への転換を誘導するために、どう対応していくのか。	温暖化対策実行計画策定の際に、小売店等での省エネの取組を具体的に事例で示す等、周知を図る。
商店に対する省エネ機器への切り替えの支援について「研究していく」と答えたが、結果は？	新年度から、常時点灯が必要な事業所内の照明機器をLED等へ切り替える費用の一部を支援する。
運輸、バス、タクシーなど輸送関係事業者に対し、エコカーへの転換をどう促進していくのか。	区の取組の方向性を改めて知らせ、エコカーへの切り替え促進等を働きかけていく。
自動車や徒歩での移動促進のため、自転車道の整備、すぎ丸の利便性向上を求める。	MaaS（※）等新モビリティサービスの活用検討や、すぎ丸を含めた公共交通の利用促進等に努める。

※「すぎなみエコチャレンジ事業」家庭や事業所における電気及びガスの使用量について、前年度と比較して区で定めた基準以上の削減を行った場合や、国のZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）支援を受けた場合に区内共通商品券を支給し、区民等の省エネ行動を促進し、温室効果ガスの削減を図る。

※「MaaS」バス、電車、タクシー、シェアサイクルといったあらゆる公共交通機関を、ITを用いてシームレスに結びつけ、人々が効率よく、かつ便利に使えるようにするシステム。

区が行っている低炭素化推進機器助成（詳細は区ホームページをご覧ください）

<p>太陽光発電システム</p> 	<p>強制循環式ソーラーシステム</p> 	<p>自然循環式太陽熱温水器</p> 	<p>定置用リチウムイオン蓄電池</p> 
<p>自然冷媒ヒートポンプ給湯器（エコキュート）</p> 	<p>家庭用燃料電池（エネファーム）</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●高日射反射率塗装 一般的には、遮熱塗料と呼ばれる。 ●窓断熱改修 <ul style="list-style-type: none"> ・ガラスの交換 ・内窓の設置・外窓の交換 	<p>雨水タンク</p> 

問い合わせ先：杉並区役所 環境部 環境課 環境活動推進係（区役所西棟7階）
電話：03-3312-2111（代表）【受付時間】平日の午前8時30分から午後5時まで